

最勝ヶ峰

山岳の特徴

付近の観光

コースの難易度	体力度	危険度
	●●●●●	●●●●●
日帰り	歩行時間: 3時間40分	歩行距離: 10.0km
	累積標高差: +645m	-672m

勝ち運の寺・勝尾寺と箕面ノ滝を結ぶ

さいしゅうがみね
540m

最勝ヶ峰は、西国第23番札所である勝ち運の寺、勝尾寺のすぐ背後を守るようにそびえている。秋には杉やヒノキの緑が、勝尾寺の美し



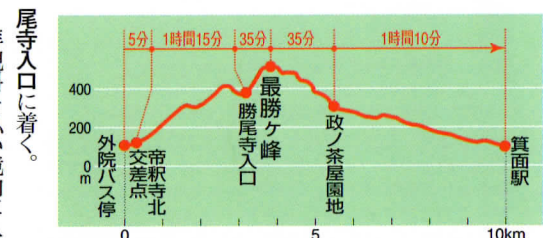
紅葉に彩られた勝尾寺の背後に横たわる最勝ヶ峰

い紅葉をいっそう際立たせる。稜線上は東海自然歩道で、整備が行き届いて歩きやすい。
北大阪急行電鉄千里中央駅から阪急バス粟生団地行で外院バス停下車。帝釈寺北交差点を左折する。細い舗装道のY字路は、勝尾寺への参道を示す石標に従い、左をとる。のどかな畑地を両側に見



観光客が絶えない秋の箕面ノ滝

ながら緩やかに登ると貯水池があり、山道に変わる。
外院尾根の稜線に出ると、最初の休憩ベンチから粟生団地が眼下に望める。この先、道は表参道と旧参道に分かれるが、どちらも20分ほどで合流する。松林の中、ジヨギングする人も多く見かける。
町石を見送ると、大きな看板がある三差路に至る。左に5分ほど入ると、赤いよだれかけが目立つ、大きな「しらみ地蔵」がある。元に戻って右の急坂を登り、途中に八天勝示石蔵を経、ほどなく勝

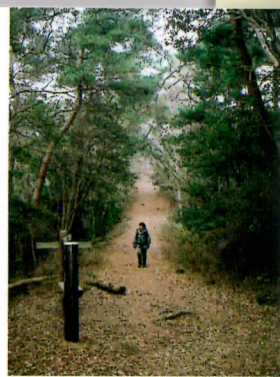


登山適期

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

然歩道の西の終端、政ノ茶屋園地に着く。ここからは舗装道をと

箕面ノ滝を経て阪急箕面線箕面駅に至る。



よく整備された東海自然歩道

道を巻いて西に進めば、頂上を示す私製の標識がかかっている。残念ながら展望はないが、そのまま植林の道を少し進むと、円形の方位盤があり、樹の幹越しにわずかに景色が開けている。
ここから先は松林の中、道幅も広がり、道標も充実しているのんびりとした気分です。鉄橋で府道4号線を越えると、東海自



チェックポイント



1 外院尾根の入口。左の道に入る



2 町石の奥にしらみ地蔵への分岐がある



3 最勝ヶ峰山頂は開成皇子の墓所になっている



4 東海自然歩道の起点・政ノ茶屋園地。トイレもある

登山シーズン

勝尾寺と箕面ノ滝のカエデが紅葉する11月が最高。勝尾寺境内では四季を通じて花を楽しむ。冬の日だまりハイクもよい。4、5月の新緑もすがすがしい。

ワンポイントアドバイス

外院尾根の山道は表面がかなり固められており、随所に、オフロードバイクの往来による深い轍が痛々しく残る。この山域では、自転車等の乗り入れは禁止されているが、それでも時折、

猛スピードで坂を下りてくる無謀な輩があるので事故に注意しよう。

八天勝示石蔵は、1230年に麓の村々が境界紛争を起こしたとき、勝尾寺が土地の境界線を8カ所に設けたもの。8カ所すべての石蔵から、青銅の八天像が出し、現在、国の重要文化財になっている。もちろんここには像は残っていない。

箕面のみやげもの街の酒屋では箕面の地ビールが置いてある。種類も豊富で楽しめる。

下山後、箕面温泉スパガーデン (☎072-723-2323) で汗を流すのもよい。

問い合わせ

箕面市役所商工観光課 ☎072-723-2121、阪急バス茨木営業所 ☎072-643-6301

2万5000円

高槻、広根、伊丹